

2. 人口の将来展望

(1) 龍ヶ崎市の総人口の推移と特徴

本市の総人口は、平成 22 (2010) 年の 80,334 人をピークに減少傾向にあり、社人研の手法を参考に、実態に即した人口推計を行うと、平成 52 (2040) 年には 66,733 人、平成 72 (2060) 年には 51,479 人になると見込まれています。

合計特殊出生率は、平成 25 (2013) 年は 1.29 であり、国や茨城県の値を下回っています。また、近年は死亡数が出生数を上まわるようになり、自然減へ移行しています。

社会増減では、これまで転入超過で推移してきましたが、近年では、わずかながら転出超過の傾向が見られます。

このように、人口の増減を左右する自然増減と社会増減の両方がマイナス傾向であることから、このままでは、今後、人口減少がさらに進行することを示しています。

(2) 龍ヶ崎市人口ビジョンにおける目指すべき将来の方向性

そこで、人口ビジョンでは、以下の目指すべき将来の方向性を掲げ、人口減少に対するさまざまな施策や事業を展開することを前提として、合計特殊出生率を平成 52 (2040) 年に 2.10 まで上昇させるとともに、人口移動について 20 歳代の転出超過は 20% 抑制し、30 歳代を中心とする子育て世代とその子どもの世代 (0 歳代) の転入超過について 20% 増加させることを目標として、将来人口を推計しました。

《目指すべき将来の方向性》

- ① 若者・子育て世代が安心して結婚・子育てできる環境を創出する
- ② 住みよさの向上など、住んでみたいと感じるまちづくりを推進する
- ③ 少子高齢型社会に対応した地域活力を創造する

(3) 人口の将来展望

人口推計の結果を踏まえて、以下のとおり、本市が目標とする人口と老年人口比率を設定しました。

平成 72 (2060) 年において、総人口は、本市がベースとする推計と比較して、人口の減少を約 14,000 人、老年人口比率は約 6.4% 抑制する目標としています。

《平成 72 (2060) 年の目標》

目標人口：65,600 人

老年人口比率：33.0%